

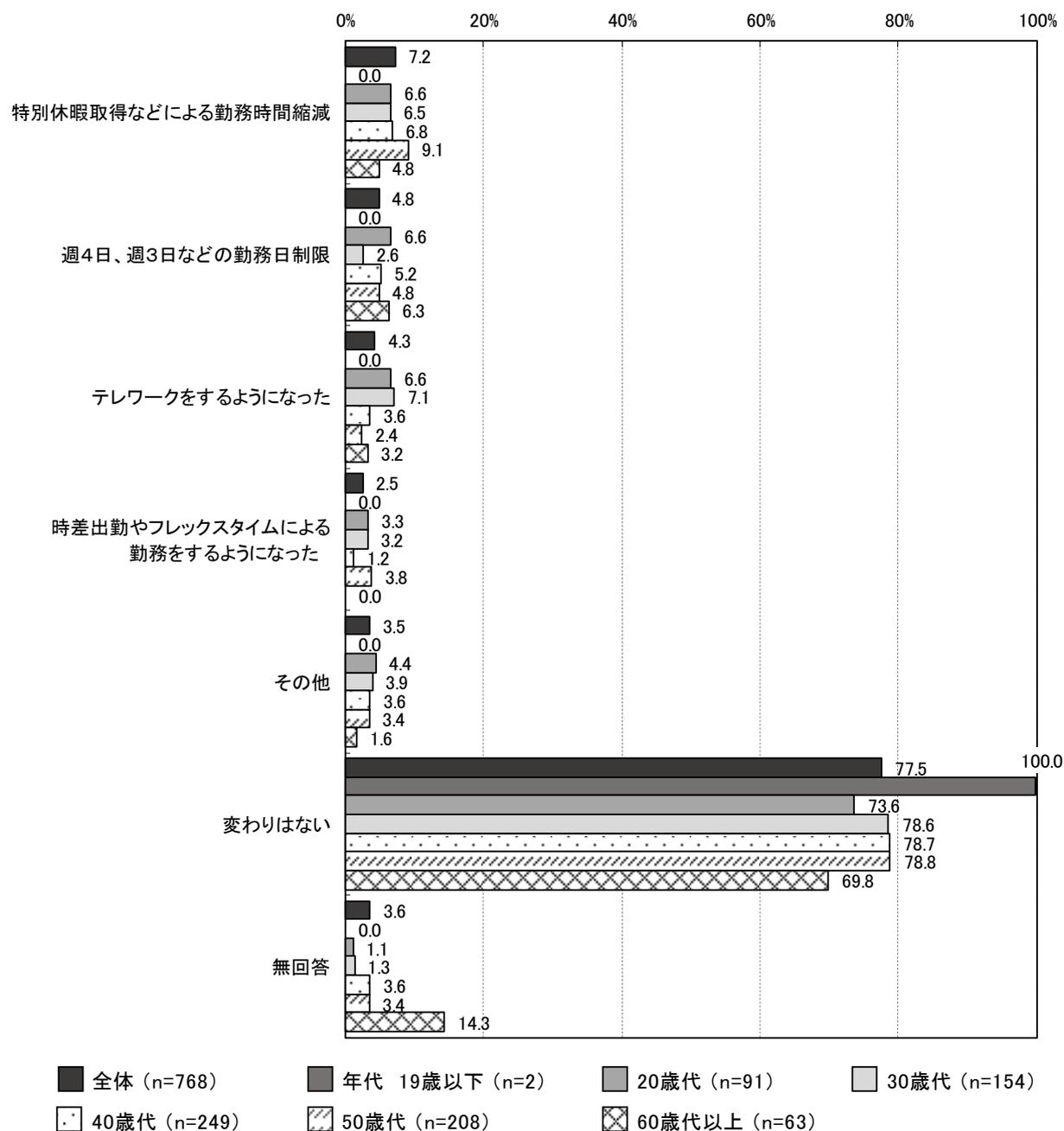
第十二章 新型コロナウイルス感染症拡大の影響について

1. 感染症影響下での働き方の変化【問11】

全体では、「変わりはない」が77.5%、次いで「特別休暇取得などによる勤務時間縮減」が7.2%、「週4日、週3日などの勤務日制限」が4.8%の順となっている。また、「テレワークをするようになった」では4.3%となっている。

年代別で見ると、いずれの年代も「変わりはない」の割合が最も高くなっている。

[図表 12-1-1] 感染症影響下での働き方の変化（全体・年代別）《MA》



業種別でみると、宿泊業、飲食サービス業では「特別休暇取得などによる勤務時間縮減」の割合が16.7%、「週4日、週3日などの勤務日制限」の割合が12.5%と他の業種に比べて高く、情報通信業では「テレワークをするようになった」の割合が36.4%と他の業種に比べて高くなっている。

[図表 12-1-2] 感染症影響下での働き方の変化（業種別）《MA》

業種		(%)						
		特別休暇取得などによる勤務時間縮減	週4日、週3日などの勤務日制限	テレワークをするようになった	時差出勤やフレックスタイムによる勤務をするようになった	その他	変わりはない	無回答
全体	(n=768)	7.2	4.8	4.3	2.5	3.5	77.5	3.6
農業、林業	(n=9)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
漁業	(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
鉱業、採石業、砂利採取業	(n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
建設業	(n=119)	5.9	2.5	4.2	2.5	0.0	84.9	3.4
製造業	(n=207)	10.1	6.8	4.8	1.9	2.9	74.9	2.4
電気・ガス・熱供給・水道業	(n=6)	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	83.3	0.0
情報通信業	(n=11)	0.0	0.0	36.4	0.0	0.0	63.6	0.0
運輸業、郵便業	(n=26)	11.5	0.0	3.8	3.8	7.7	69.2	3.8
卸売業、小売業	(n=70)	7.1	7.1	4.3	2.9	5.7	72.9	4.3
金融業、保険業	(n=7)	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	85.7	0.0
不動産業、物品賃貸業	(n=5)	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	0.0
学術研究、専門・技術サービス業	(n=12)	8.3	8.3	16.7	16.7	0.0	58.3	8.3
宿泊業、飲食サービス業	(n=24)	16.7	12.5	0.0	4.2	4.2	45.8	16.7
生活関連サービス業、娯楽業	(n=16)	12.5	6.3	6.3	0.0	6.3	68.8	0.0
教育、学習支援業	(n=22)	4.5	0.0	4.5	4.5	4.5	77.3	4.5
医療、福祉	(n=131)	3.1	0.8	0.8	0.8	5.3	87.8	3.1
複合サービス事業	(n=2)	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
サービス業（他に分類されないもの）	(n=75)	5.3	8.0	5.3	4.0	5.3	80.0	0.0
その他	(n=6)	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	16.7

※働き方の変化について、各業種の最も高い回答率を網掛けにて示している。（「変わりはない」、「無回答」を除く）

2. テレワークを行った際の苦勞（自由意見）【問11-1】

※回答者=問11で「1テレワーク」とお答えの方。

※表現は原意を損なわない程度に一部修正をしている。

◆ネットワーク環境、在宅での仕事環境

業種	年代	自由意見
建設業	30歳代	インフラの整備。オン、オフの切り替えが難しい。出社している社員に仕事を願う事が増え、申し訳なかった。
製造業	30歳代	PC環境の都合で、気軽にテレワークできない事。
製造業	30歳代	自宅に仕事をする為の十分なスペースがなく、生活スペースが圧迫される。仕事の為に空けられるスペースに空調など整っておらず不快。
製造業	40歳代	在宅勤務する環境が整っていないため、身体が痛くなった。意見交換が難しい。さぼっていると思われるようにやらなければいけないと、変に力が入ってしまう。
情報通信業	40歳代	在宅勤務用にマイク、イスなどを購入する必要があった。
卸売業、小売業	40歳代	インフラ速度問題。光熱費等の出費。
教育、学習支援業	40歳代	最初はテレワークの仕方が十分わからなかった事。
医療、福祉	20歳代	リモート会議における、ネット状況の悪さ。他事業所への理解や協力要請の大変さ。
サービス業(他に分類されないもの)	40歳代	自宅での環境が整っていない。

◆家事、育児との両立

業種	年代	自由意見
製造業	30歳代	夕方、子どもが帰ってくると業務だけに集中できない。
卸売業、小売業	40歳代	在宅勤務時に子どもがいる場合、同じ仕事はできないと思った。家事をついついやってしまう環境で、集中は難しいと思う。
生活関連サービス業、娯楽業	30歳代	子どもの保育園がコロナにより休園となった際、保育と在宅勤務の両立に苦勞した。

◆業務内容の限度、効率の悪化など

業種	年代	自由意見
製造業	40歳代	在宅で出来る仕事を、在宅勤務する日にできるように、調整しなければならない。
製造業	50歳代	製造業なので、テレワークが出来る所とできない所があり、結果的にテレワークも、フレックスタイムもできない状況になってしまった。
製造業	50歳代	コミュニケーションが難しい。紙ベースの仕事が多いので、テレワークで全てがカバーできない。
情報通信業	20歳代	互いに話が被ってしまう場面があり、コミュニケーションの取り方に苦勞した。
卸売業、小売業	30歳代	私の業務を行える社員が他にいない為、会社での作業が滞ってしまう。(逆もしかり)社内での作業を別社員に依頼する時の心理的ストレス。自宅にWi-Fi環境がない。